

キャリア開発演習 I（対象学年：3年）の小論文対策(行政の役割)分野、担当教員：狩野直樹先生の授業を見学させていただきました。

授業開始前には、本日の内容について総長先生より「地方上級は難しいが、これに受かると群馬県庁で部長や課長、局長などのエリートにもなれる。」というお話がございました。これから取り組む問題を解けるようになることで、将来どういった姿になれるのかというイメージが湧き、身を引き締めて臨むことができるお言葉だと存じました。狩野先生には、学生の将来を幸せにするために、心を込めて指導するよというお話もございました。私も学生の幸せのために、より責任感を持って就職支援に取り組んでまいりたいと存じます。

前回こちらの分野に取り組んだ際に、「わからない。」「難しい。」という声が上がったとのことで、色分けし下線を引いた教科書の PDF が用意され、そちらを基に授業が進められました。まず初めに総長先生より追加で下線を引くべき重要な箇所が提示され、一文ずつ重要なポイントを確認いたしました。「公共財」の分野では、アメリカでコロナウイルスの死者が多いのは、医療費が高く治療を受けられない人が多いためという具体例も提示され、より身近な話として捉えることができたのではないかと存じます。

最後に、本日の内容を黙読する時間が 20 分設けられました。授業中にも、下線を引き、黙読する時間はございましたが、繰り返し黙読をすることで、自分の言葉のように取り込むことができるのだと感じました。

20 分の黙読ののち、狩野先生より、本日の内容についてどのように理解したか、下線を引いた中から 2 名に質問がございました。2 名ともテキストから一生懸命探し、回答しており、学んだことを言葉に出すことで、より一層身につけられたのではないかと存じます。

授業終了時には、総長先生より「公務員は安定しており、リストラや内定取り消しもない。地道に勉強し、ぜひ頑張ってください。大学として応援します。」という力強いお言葉があり、学生にとって大きな励みになったと感じました。